



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

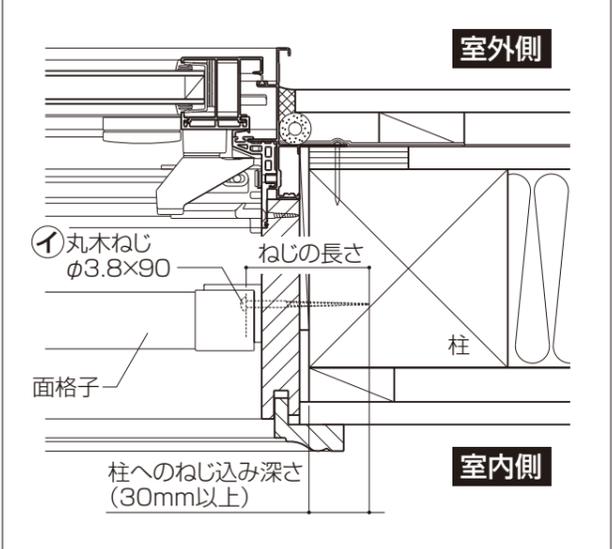
●FL(床面)から額縁上端までの高さが650mm以下の場合は、取付けないでください。幼児が足をかけてのぼり、転落のおそれがあります。

▲注意

●面格子の外れ・落下のおそれがありますので、下記事項を厳守してください。

- ・面格子は、手すりとして使用しないでください。手すりとしての強度はありません。
- ・当製品は木造躯体専用です。ALC・RCなどの躯体には取付けないでください。
- ・取付け前に必ず、柱の位置・寸法、内装材・下地材の厚さを建築図面で確認してください。
- ・枠は必ず柱に指定のねじで取付けてください。柱のない部分には取付けないでください。
- ・柱へのねじ込み深さは30mm以上確保してください。
- ・強度を保つため、必ず指定のねじ類を指定の数量使用してください。
- ・仮固定の状態では面格子から手を離さないでください。面格子が落下することがあります。
- ・必ず本締めをしてください。仮固定のままでは面格子が落下することがあります。
- ・面格子本体取付け後、面格子をゆすってガタツキのないことを確認してください。

■柱へのねじ込み深さ(横断面図)



■取付け上のお願

- 不在の時は、人が侵入するおそれがありますので窓を施錠してください。
- サッシのハンドルなど動く部品や開閉式の網戸がある場合は、操作できることを確認してください。
- 固定ボルトは必ず専用工具(別売品)で締付けてください。
- 固定ボルトは、面格子本体のガタツキがなくなる程度に締付けてください。締めすぎると面格子が変形します。
- 左右の枠は、高さ方向・前後方向とも同じ位置に取付けてください。
- 防犯建物部品の規定に適用していない場合は、防犯CPラベルをはがしてください。

■取付け部品一覧表

①	②	③
丸木ねじφ3.8×90	固定ボルトM8×16	専用工具

■別売品

■取付け順序

1 取付け位置の確認

■取付け詳細

1 取付け位置の確認

【取付け高さの確認】

※FLから額縁上端までの高さが651mm以上あることを確認してください。

▲警告

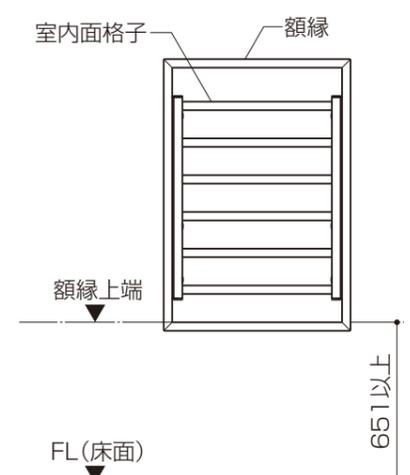
●FL(床面)から額縁上端までの高さが650mm以下の場合は、取付けないでください。幼児が足をかけ、のぼることがあります。

【取付け面の確認】

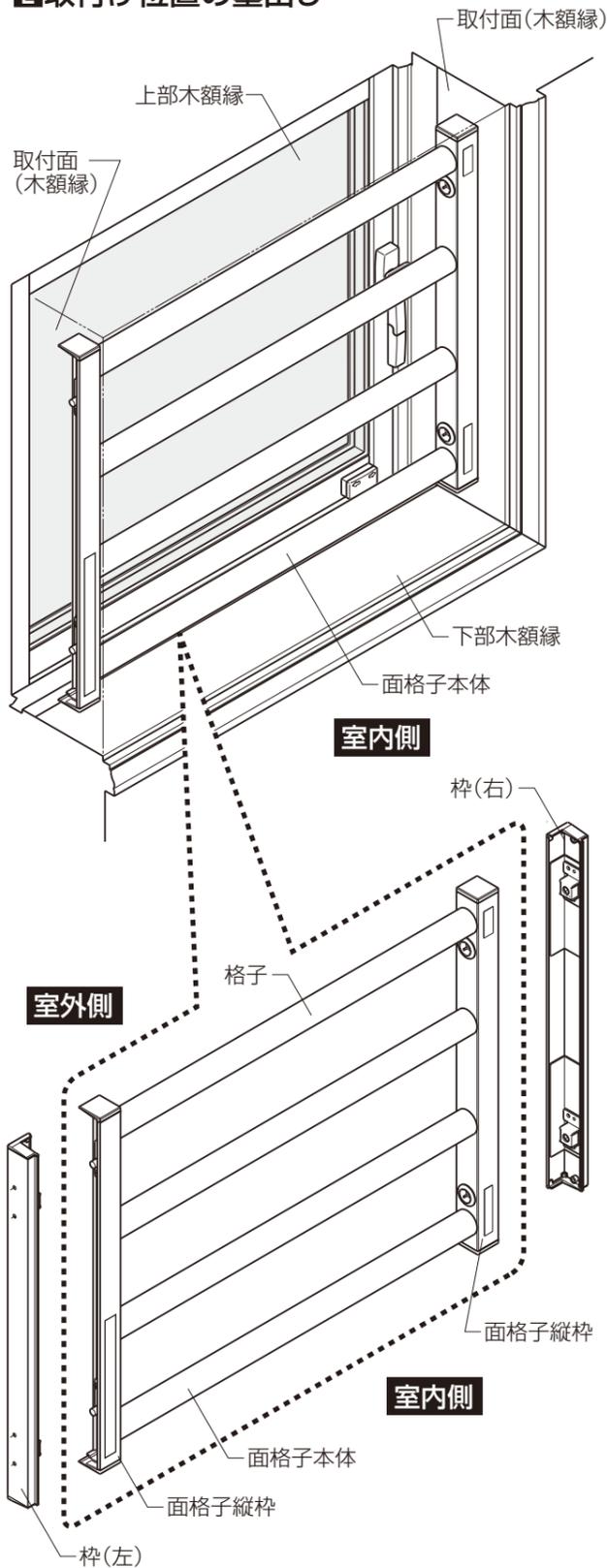
※面格子の固定に支障がないように、下記事項を確認してください。

- ①取付面が木額縁、又はクロス(壁紙)仕上げであることを確認してください。
- ②取付面に段差がないことを確認してください。
- ③取付面の垂直が正しく出ていることを確認してください。

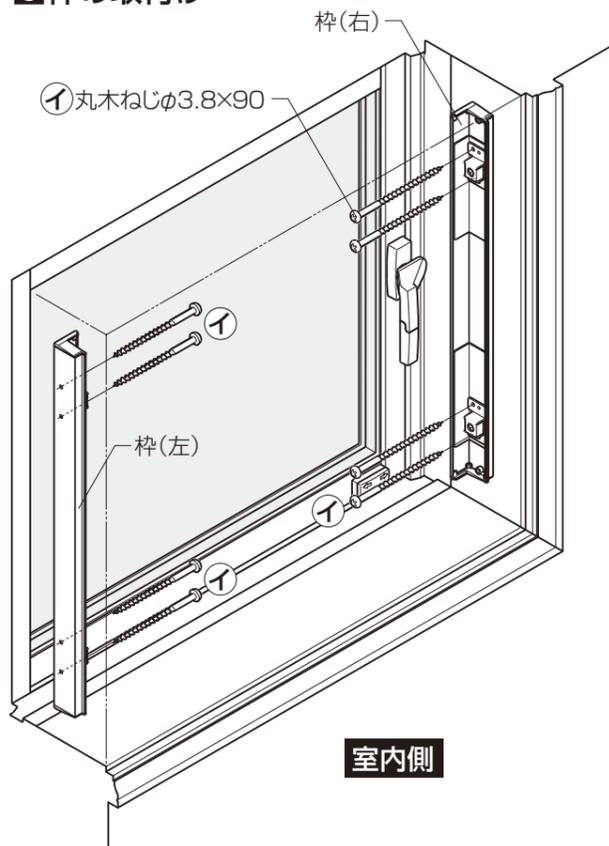
【取付け高さ】



2 取付け位置の墨出し



3 枠の取付け



2 取付け位置の墨出し

【高さ方向の墨出し】(図-1)

①室内右側の取付面に面格子本体を当てがい、面格子縦枠底面から下部木額縁上端までの距離が80mm以下で、且つ面格子縦枠上面から上部木額縁下端までの距離が230mm以下となる位置に合わせます。

※面格子の格子が1本の場合は、面格子縦枠底面から下部木額縁上端までの距離が34.5mm以下で、且つ面格子縦枠上面から上部木額縁下端までの距離が184.5mm以下となる位置に合わせます。

お願い

※サッシ・網戸の部品に当たる場合は、当たらない位置まで上下移動してください。

※サッシのハンドルなど、動く部品や開閉式の網戸がある場合は、操作できることを確認してください。

②鉛筆など(後で消せるもの)で、面格子縦枠底面に沿って墨出しをします。

④室内左側は、右側と同じ高さに墨出しをします。

お願い

※墨出し距離は、必ず左右共に同じであることを確認してください。

【前後方向の墨出し】(図-2)

①室内右側の取付面に面格子本体を当てがい、丸木ねじφ3.8×90が柱に止まる位置に合わせます。

お願い

※サッシ・網戸の部品に当たる場合は、当たらない位置まで前後移動してください。

※サッシのハンドルなど、動く部品や開閉式の網戸がある場合は、操作できることを確認してください。

②鉛筆などで、面格子縦枠の室内面に沿って墨出しをします。

③室内左側は、右側と同じ位置に墨出しをします。

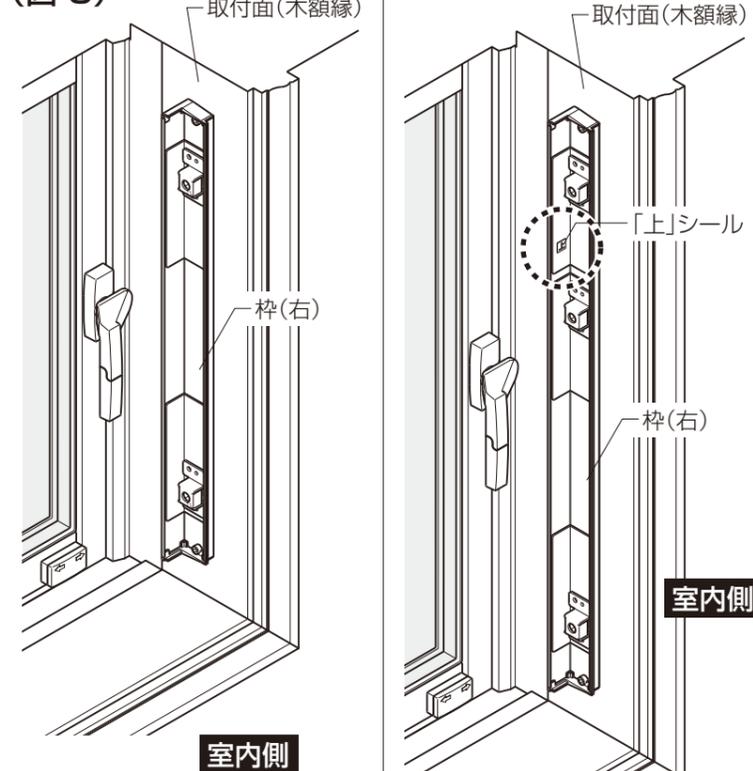
お願い

※墨出し距離は、必ず左右共に同じであることを確認してください。

3 枠の取付け

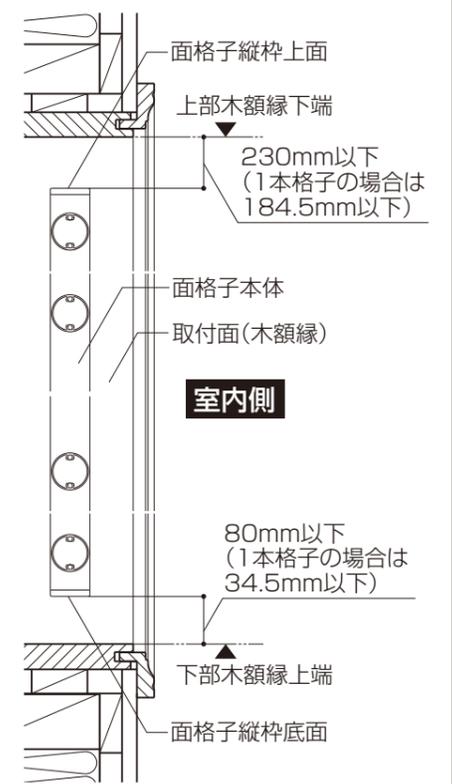
①枠(右)の向きを確認してください。(図-3)
※格子が5本以上の場合は上下がありますので、「上」シールを上にして取付けてください。

(図-3)

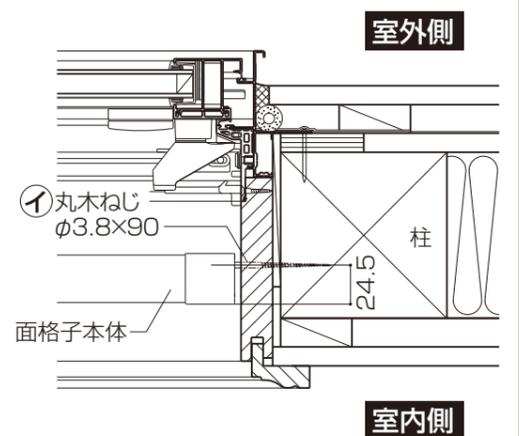


■格子5本以上の場合

(図-1)

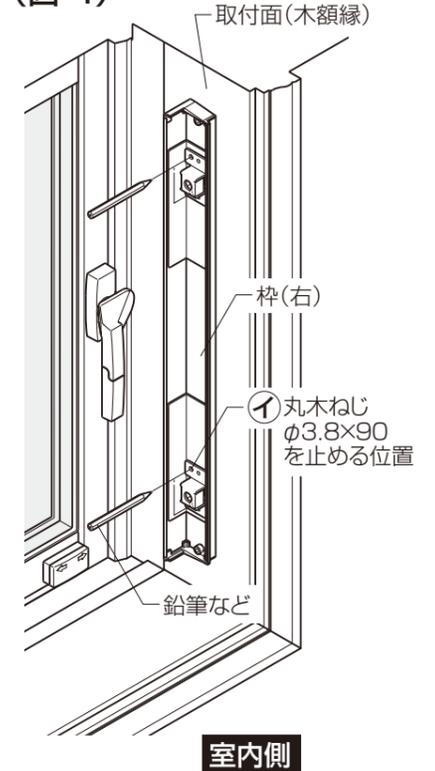


(図-2)



②枠(右)を取付面の墨出し位置に合わせて、丸木ねじφ3.8×90を止める位置に鉛筆などで目印を付けます。(図-4)

(図-4)



- ③②の目印にφ3.2のドリルで下穴をあけます。(図-5)
- ④枠(右)を取付面に丸木ねじφ3.8×90で取付けます。(図-6)
- ⑤同様に枠(左)も①~④の手順で取付けます。

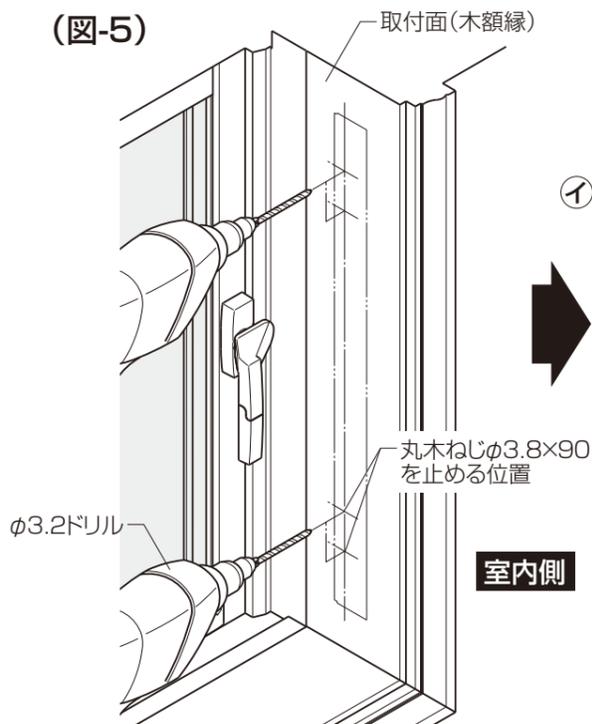
▲ 注意

- 面格子の外れ・落下のおそれがありますので、下記事項を厳守してください。
- ・枠は必ず柱に、指定のねじで取付けてください。柱のない部分には取付けしないでください。
- ・強度を保つため、必ず指定のねじ類を指定の数量使用してください。

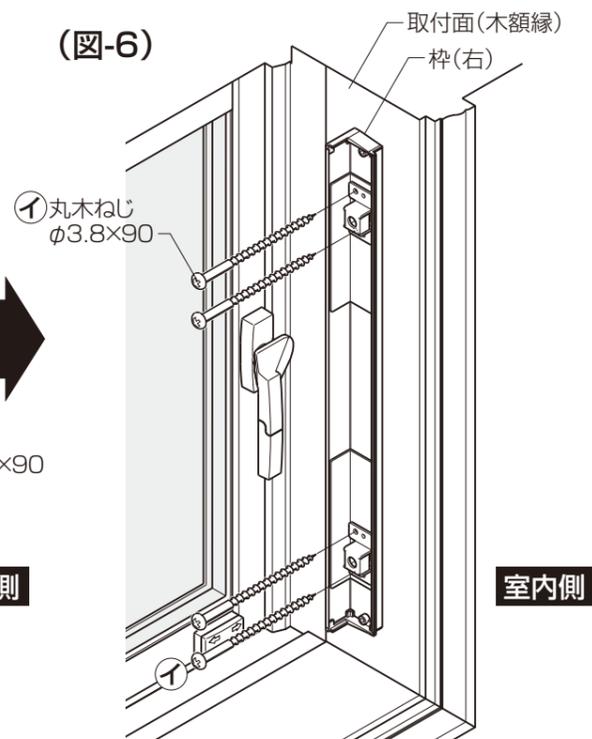
お願い

※左右の枠は、高さ方向・前後方向とも同じ位置に取付けてください。

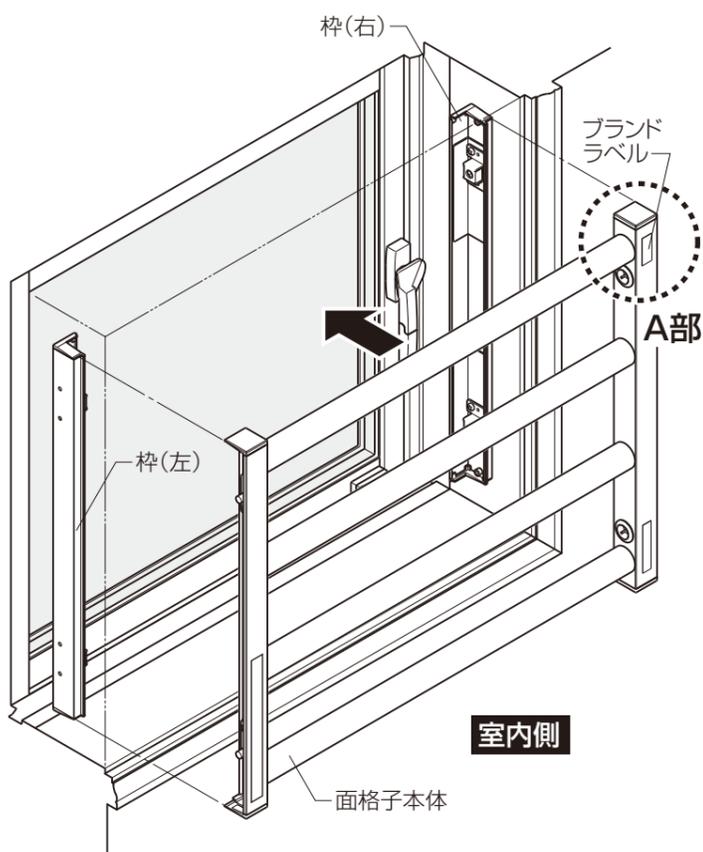
(図-5)



(図-6)



4 面格子本体の仮固定



4 面格子本体の仮固定

- ※固定ボルトM8×16と専用工具(別売品)を準備します。
- ①面格子本体の向きを確認してください。(A部)
- ※ブランドラベルを室内側(右上)にしてください。
- ②面格子本体を室内側から枠にはめ込みます。(図-7)

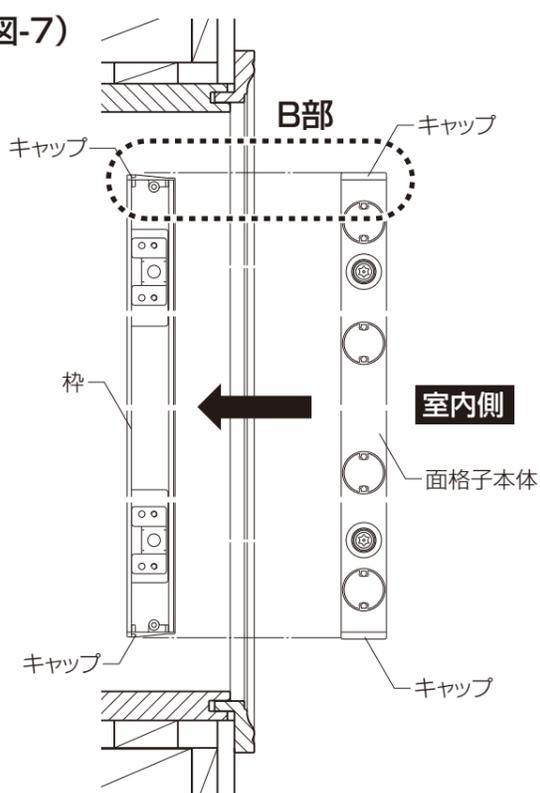
▲ 注意

- 面格子が落下するおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・仮固定の状態では、面格子から手をはなさないでください。
- ・必ず⑤の本締めをしてください。

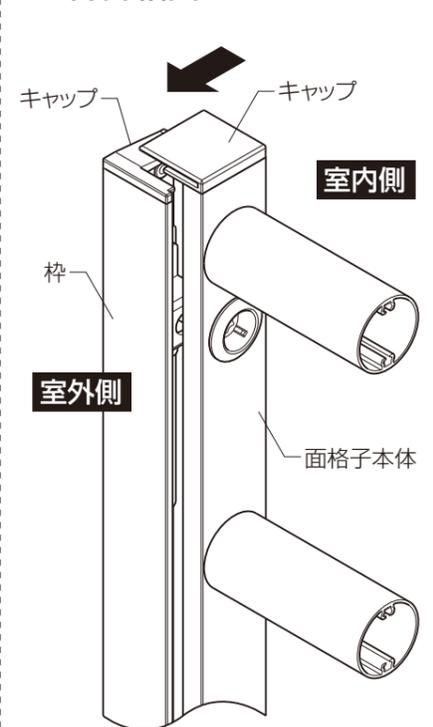
お願い

※四隅のキャップが、すべてはまったことを確認してください。

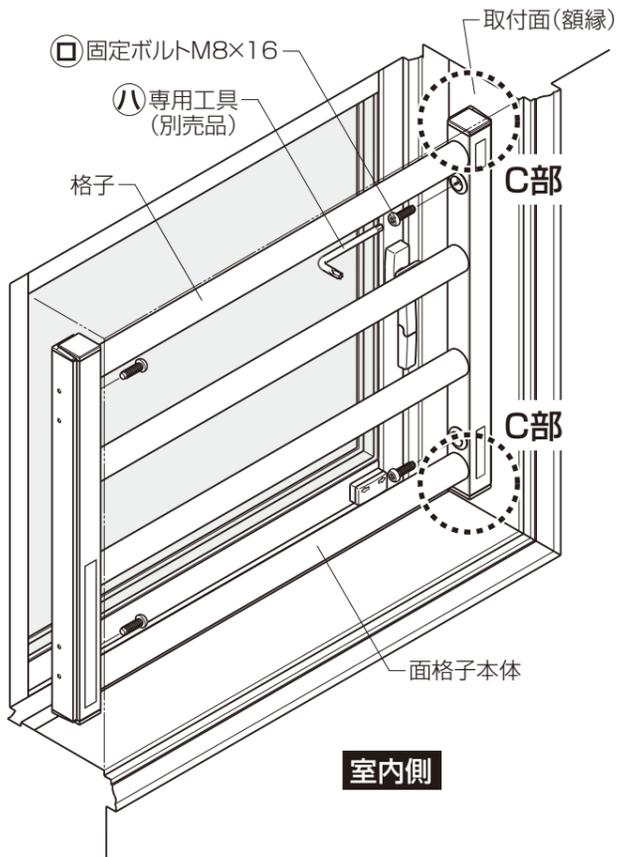
(図-7)



■ B部詳細図



5 面格子本体の固定



5 面格子本体の固定

①面格子本体にある固定リングに固定ボルトM8×16を挿入し、専用工具(別売品)で左右をねじ止めます。

▲ 注意

- 面格子の外れ・落下のおそれがありますので、下記事項を厳守してください。
- ・強度を保つため、必ず指定のねじ類を指定の数量使用してください。
- ・面格子本体取付け後、面格子をゆすってガタツキのないことを確認してください。

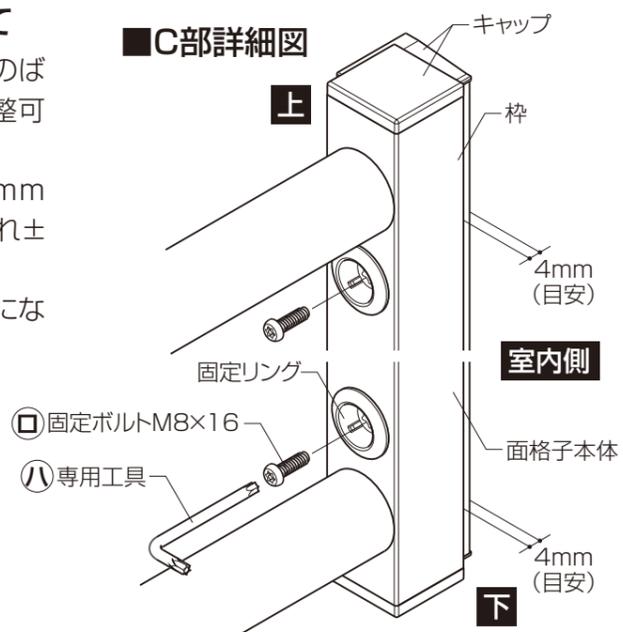
お願い

- ※固定ボルトは必ず専用工具(別売品)で締付けてください。
- ※固定ボルトは、面格子本体のガタツキがなくなる程度に締付けてください。締めすぎると面格子が変形します。
- ※専用工具を格子に当てないようにねじ止めてください。

■ 建付け調整機能について

- 本製品は造作材の仕上りのばらつきを考慮し、出来幅を調整可能としています。
- ※面格子本体と枠のズレが4mmを基準として、左右それぞれ±4mmの調整が可能です。
- 取付の際は、ズレが左右均等になるようにしてください。(目安4mm)

■ C部詳細図



6 取付け後の確認

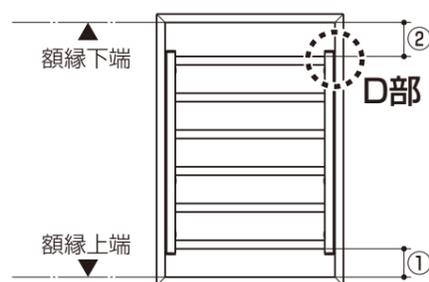
6 取付け後の確認

※防犯建物部品の規定に適用していることを確認してください。

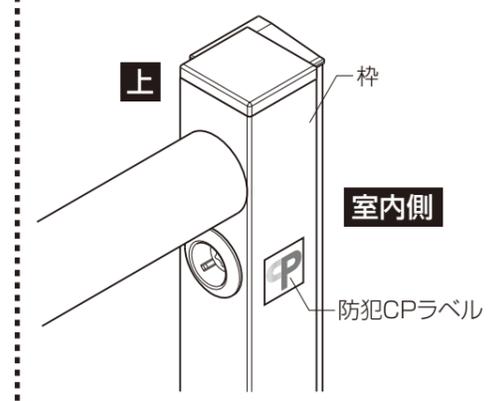
お願い

- ※防犯建物部品の規定に適用していない場合は、防犯CPラベルをはがしてください。

■ 防犯建物部品の規定



■ D部詳細図



- ①額縁上端と格子下端までのすき間が100mm以内であること。
- ②面格子本体と額縁下端のすき間に、次の大きさのブロックのいずれも通過が不可能であること。
 - ・400mm×250mmの長方形
 - ・400mm×300mmの楕円形
 - ・直径が350mmの円